



地域の実情に応じた在宅医療・介護連携を推進するための
小規模自治体向け多職種研修プログラムに関する調査研究事業



自治体ご担当者様向け 研修実施にあたってのヒント集

- 当調査研究事業では、特に人口規模5万人以下の自治体を対象として、在宅医療・介護連携推進事業における「(カ) 医療・介護関係者の研修」を進めやすくするための研修プログラム、運営ガイドを作成しました。
- このプログラムの作成過程の中で、小規模自治体が円滑に研修を進めるための要点をまとめ、ヒント集としました。このヒント集や報告書を、ぜひ貴自治体のよりよい研修実施にお役立ていただければと思います。

1. 研修実施前に、地域診断を行いましょう。

(報告書 19 ページ)

- … 研修前にその地域の課題を明らかにし、これに基づいた研修のテーマ設定や研修題材の準備をすることで、より地域課題に即した実用的な研修を行うことが可能です。
具体的な方法は本報告書に掲載していますので、ご参照ください。

2. 研修の準備方法が分からない場合は、「運営ガイド」を読みましよう。

(報告書 17 ページ)

- … 関係団体の調整から関係者への参加依頼、当日の物品準備など、研修準備は多岐にわたります。本報告書では準備で必要なことを4か月前から記載していますので、漏れのない準備を進めることができます。

3. 研修当日の進め方が分からない場合は、「研修プログラム」を読みましよう。

(報告書 9 ページ)

- … 研修当日の進め方、テーマの設定方法などを細かくまとめました。この内容に沿って研修を進めるだけでなく、貴自治体の特徴にあわせたアレンジをプログラムに加えれば、貴自治体だけの独自の研修プログラムが完成です。

4. 研修プログラムだけでは不安、という場合は、「別紙」を読みましよう。

(報告書 185 ページ)

- … 「別紙」では、研修開始からの司会の発言集(別紙1)、ロールプレイでそのまま使える患者家族や専門職のプロフィールをまとめたシナリオ(別紙2)など、研修に役立つたくさんのツールを用意しました。

5. それでも不安！！な場合は、他で開催されている多職種研修に参加してみましよう。

- … 本調査研究では、研修運営に不安が残る場合、研修を実際に体験してみることが有効であると考察しています。例えば、近隣自治体で開催されている研修に試しに参加してみるだけでも、不安が減るものと思います。

6. 他の自治体の事例が知りたい場合は、事例集を読みましよう。

(報告書 31 ページ)

- … 本調査研究では、効果的に研修を行っている小規模自治体の事例を5つ、訪問調査によりとりまとめています。様々なヒントが得られますので、ぜひご一読ください。

